

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) Number 3

※動画で用いるスライドはPDFで動画下にリンクで貼り付けています

⑦高校生の学び成長するための『大学選び』 ー大学がアクティブラーニング型授業を 積極的に推進しているかを調べるー (後編)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 学長・教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、2000年講師、2003年准教授、2014年教授を経て、2019年4月より現在に至る。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



前回（⑥）のPoint3の続きです

溝上慎一（2021）. 高校生の学びと成長に向けた 「大学選び」—偏差値もうまく利用する— 東信堂

第1部 自身の「大学選び」の質を高める5つのポイント

第1章 Point 1 将来の見通しを持つ

第2章 Point 2 「大学で何を学びたいか」からではなく、「将来どのような職業に就きたいか」から「学部選び」を行う

第3章 Point 3 大学がアクティブラーニング型授業を積極的に推進しているかを調べる

第4章 Point 4 偏差値をうまく利用する

第5章 Point 5 三大都市圏以外の大学を選択肢に含める

第6章 （おまけ）中小企業は面白い！
——ここから職業、「大学選び」を考えてみる

第2部 高校生からの質問に答える



大学がアクティブラーニング型授業を積極的に推進しているかの「調べ方」

- ①大学のウェブサイトを調べる
- ②オープンキャンパスで直接尋ねる
- ③国立大学を選ぶ



留意点

- ①大学・学部のホームページで研究の先進性を謳ってきてもそれは参考程度にとどめる。
- ②「～が学べます」と専門の学科や教育内容を紹介するだけで、教育方法やどのような学生を育てたいかというビジョンを示さない大学・学部が多くある。
- ③AL型授業を推進しているとは謳わないものの、どの大学にもある
 - ・演習やゼミ
 - ・実験・実習・実技をもって、まるで参加型授業、少人数教育を行っているように見せかける大学が多くある



④キャリア教育やクラブ・サークル活動、地域活動だけをもって「教育の特色」
「学生は成長しています」と謳う大学・学部が多くある。

⑤「初年次教育（初年次ゼミ）」をもって、「参加型教育」「少人数教育」を推進
するかのよう謳う大学・学部が多くある。



⑥1つか2つのプロジェクト科目やフィールドワークなどの科目をもって、「アク
ティブラーニング型授業を実現しています」と謳う大学が多くある。

ご視聴有難うございました
チャンネル登録をお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

